

文化力の旅 旅鶴プラン300

津軽武士が残した宝物

2千年前、津軽海峡を海ではなく「しよっぱい河」と呼び渡った者たちが住みし里。江戸時代、津軽藩は国替えもなく安泰に過ごした数少ない藩。歴代藩主は、領民の為に開墾に尽くし領地を広げ、豊かな田園を造る森を守った。大きく循環するものが豊かさだと教えてくれる景観と史跡を紹介する。

この季節のご紹介は、
特にございません。

日本海に面した津軽半島の付け根、青森県鯉ヶ沢町は、津軽藩発祥の地。藩の御用港として栄える。ミニ白神は、世界遺産の白神山地から北に20kmの黒森地区にある。ここも白神山地の特徴であるブナを主とする天然広葉樹林に恵まれる。藩政時代、田の水を確保するために禁伐林として大切に守られた。恵みの水はブナの林が溜める。

この季節催事情報特にございません。



(左)写真提供:鯉ヶ沢町産業振興課 (右)ミニ白神「くろもり館」



あじがさわ白神山ガイド倶楽部
青森県西津軽郡鯉ヶ沢町深谷町矢倉山1-26
ミニ白神内
TEL:0173-79-2009
(連絡可能時間帯:8:30~17:00)
(休)11月1日~4月19日

旅鶴倶楽部
会員特典

この季節のご案内は特にございません。



光信公の館

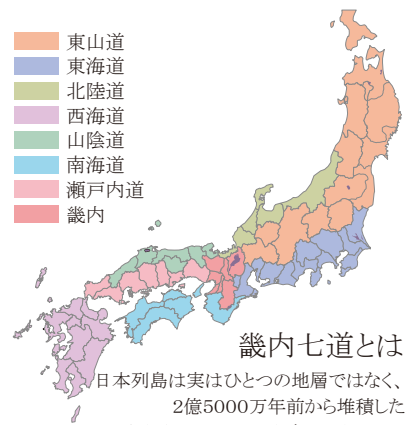
この季節のご紹介は、
特にございません。

津軽半島は、鎌倉時代より豪族安東氏が治めた地。その本拠地十三湊は、朝鮮半島や中国と交易し博多湊と並び称される。室町時代、津軽藩の始祖大浦光信が鯉ヶ沢町の山間部種里に城を築き、苦闘の末、津軽統一を果たす。津軽藩発祥の地種里城跡には光信公が甲冑を着たまま辰巳の方角、岩手県久慈市を向いて埋葬されている。

この季節催事情報特にございません。

種里城跡(光信公の館)

青森県西津軽郡鯉ヶ沢町大柳90 TEL:0173-79-2535
(開)5月1日~10月31日の金土日/5~8月 9:00~17:00/9~10月9:00~16:30まで (料)大人300円、高生220円、小中生150円



畿内七道とは
日本列島は実はひとつの地層ではなく、2億5000万年前から堆積した陸や海の地層が北や南、西や東から集まりかさなりあって出来ている。1300年前大和政権が律令国家となり、その日本の成り立ちにそって各地方を区分したのが畿内七道だった。

旅鶴倶楽部
会員特典

この季節のご案内は特にございません。

つながりあう日本三十六景畿内七道の文化施設をご紹介します

東山道

青森県郷土館

青森市本町二丁目8-14
TEL:017-777-1585
特別展
青森県博物館ロード
「青い森の宝箱-県内博物館名品大集合!!」
平成23年12月9日(金)~平成24年1月29日(日)
青森県の文化遺産を通じ郷土の魅力を情報発信するプロジェクト。県内博物館等施設の協力で選定された名品約200点を展示。
※工事休館2月1日(水)~3月31日(土) (予定)



青森県立郷土館蔵

東山道

市立函館博物館

北海道函館市青柳町17-1
TEL:0138-23-5480
平成23年度「収蔵資料展」
平成23年12月6日(火)
~平成24年4月15日(日)
開拓使函館仮博物館を発祥の地とする当館130年以上の歴史を示す「自然」「考古」「美術」「歴史」コレクションを全て公開し、伝統的総合ミュージアムのその姿に触れる。



「北海道志海苔中世遺構出土銭」所蔵・写真提供:市立函館博物館

東山道

中尊寺

岩手県西磐井郡平泉町
宇衣園202
TEL:0191-46-2211
節分会
平成24年2月3日(金)
招福の嘉例、立春大吉を迎える行事。本堂で護摩祈祷の後、大相撲の関取や厄年の善男善女等が「福は内、鬼は外」と声も高らかに豆をまき、世界遺産の境内は終日賑わう。



節分会 写真提供:中尊寺

東山道

特別史跡 三内丸山遺跡

青森市大字三内字丸山305
TEL:017-781-6078
三内丸山縄文冬祭り
平成24年2月18(土)~19日(日)
恒例の縄文冬祭りを開催。縄文時遊館ではクイズラリーや縄文グッズ作り、縄文生活体験コーナーを、また、遺跡内では大型スベリ台や雪だるま広場を予定。冬のさんまを満喫。



昨年度の大型スベリ台の様子 写真提供:縄文時遊館



縄文円筒土器
縄文前期~中期 青森県立郷土館蔵

大自然を映す 縄文の造形美

バケツを長くしたような円筒の土器。縄文時代前期から中期にかけて、北海道南部から秋田県北部、岩手県北部までに分布。円筒土器は、津軽海峡を挟んで両岸で活発な交流があったことを伝える。青森県立郷土館では、実際に触れ体験しながら学べる「わくわくたいけんルーム」や旧五十九銀行青森支店の特別展示室で催す様々なテーマの特別展を楽しめる。

青森県立郷土館

青森市本町2-8-14 TEL:017-777-1585
(開)9:00-18:00 (休)館内整理日及び年末年始(12/29~1/3) (料)大人310円、高大生250円、小中生無料



旅鶴倶楽部 責任編集「旅鶴プラン300」
スタイルカフェ・ドット・ネット

〒541-0053大阪府中央区本町2-5-7 大阪丸紅ビル1F TEL:06-6264-7140

今回ご紹介する文化施設の催事につきましては、東日本大震災の影響で一部に変更する可能性もございます。最新の情報は、右のサイトでご確認ください。



東日本大震災 文化施設応援サイト

大震災の事象でも、文化として歴史を守っているのがある。ここをかきわけて、みんなが日本を。協力:日光山崎王寺 編集:文化伝承事業部 (12月18日~19日)

旅鶴 応援 検索

平成23年4月15日開設